

葛飾北斎『富嶽三十六景 礫川雪ノ且』 1831~34(天保2~5)年 横大判錦絵。上空を舞う鳥を指さす女性。鑑賞者の視線を誘導することで、北斎は空の広さを表現している。



世界が認めた  
浮世絵の傑作  
『富嶽三十六景』  
鑑賞ガイド

08

葛飾北斎  
礫川雪ノ且

東京・小石川の雪景色  
広がる空の清々しさ

『富嶽三十六景』シリーズのなかで唯一の雪景色。「礫川」は現在の東京都文京区小石川のこと。小石川には傳通院や牛天神(北野神社)があり、多くの参詣客を迎えていた。画題の「且」は「旦」の誤りであると考えられており、「旦」は朝を意味することから、本図は「小石川の雪の朝」の風景を描いたものとする説が強い。

北斎は一面の雪景色を、雪見を楽しむ人々の姿を加えて描き上げた。茶屋の座敷に雪見を楽しもうと集った数人の男女。夜のうちに降り積もった雪で、江戸の町は一面の銀世界に変わっている。冬の澄んだ空気の向こうには、白雪をいたたく富士山。上空には三羽の鳥が舞う様子が描かれ、空の高さと広さが表されている。

茶屋の客の中には鳥に気づき、一心に指を差す女性も。冬の風景画ではあるが、こうした動的な表現により心地良い賑やかさが醸し出されている。

イラスト:アフロ

重要な注意事項

金融商品のお取引にあたっては、各商品等に所定の手数料等(国内上場株式、ETN(上場投資証券)、ETF(上場投資信託)等取引の場合は約定金額に対して最大1.43%(税込)[ただし、193,000円以下の場合、最大2,750円(税込)]の委託手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された購入時手数料および運用管理費用等の諸経費、等)をご負担いただく場合があります。外国株式の委託取引には、現地委託手数料と国内取次手数料の両方がかかります。現地委託手数料等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額等をあらかじめ記載することはできません。詳細はお取引のある部店までお問合せください。国内取次手数料は、約定金額に対して最大1.1%(税込)が必要になります。債券の取引は、購入対価のみお支払いいただくこととなります。また、各商品等には価格の変動や、投資対象とする有価証券の発行者の信用状況の変化、金利・為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面等をよくお読みください。本資料は信頼できると思われる情報をもとに当社が作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を保証するものではありません。目論見書等のご請求は店舗窓口までどうぞ。

※当資料掲載ファンドは、最大3.3%(税込)の購入時手数料、0.3%の信託財産留保額、年率1.9965%(税込)程度の運用管理費用をご負担いただきます。なお、運用期間中にハイウォーターマーク方式を用いて基準価額の上昇分から最大11%(税込)の成功報酬を控除する場合があります。費用等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

加入協会:日本証券業協会・一般社団法人 日本投資顧問業協会・

一般社団法人 金融先物取引業協会・一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

2025年1月作成  
250110007